

施策マネジメントシート1(26年度目標達成度評価)

作成日 平成 27 年 6 月 30 日
更新日 平成 27 年 6 月 30 日

総合計画体系	政策No.	4	政策名	みんなで元気に笑顔あふれるまちづくり	施策統括部	教育部	部長名	上原 哲也
	施策No.	24	施策名	歴史と伝統文化を活かした郷土愛の醸成	施策主管課	生涯学習課	課長名	辻 健一
					関係課	商工振興課、学校教育課、市民課		

1 施策の目的と指標 **新政策** III 教育の健康 **施策** 13 歴史・伝統文化を活かした郷土愛の醸成

① 対象(誰、何を対象としているのか) * 人や自然資源等
市民や市の出身者

② 意図(対象がどのような状態になれば良いのか)
合志市の歴史、伝統文化に触れ、郷土に対する愛着や誇りを持つ

③ 対象指標(対象の大きさを表す指標) * 数字は記入しない

名称	単位
A 人口	人
B	
C	

④ 成果指標(意図の達成度を表す指標) * 数字は記入しない

名称	単位
A 合志市の歴史、伝統文化に触れている市民の割合	%
B 合志市を郷土として愛着を感じていると答えた市民の割合	%
C 合志市を郷土として誇りを持っていると答えた市民の割合	%
D	
E	
F	

成果指標の測定企画(実際にどのように実績値を把握するか)

市民意識調査により把握
A 設問:「あなたは、過去5年間に一度でも合志市の歴史、伝統文化を見た、または参加したことがありますか?」【例:歴史資料館、郷土資料館、竹迫観音祭り、須屋小屋地蔵祭り、竹迫城跡公園、二子山石器製作遺跡等】
選択肢:①見た、または参加したことがある ②見た、または参加したことがない
B 設問:「あなたは、合志市を郷土として愛着を感じていますか?」(①、②合計の割合)
選択肢:①とても感じている ②やや感じている ③あまり感じていない ④全く感じていない
C 設問:「あなたは、合志市を郷土として誇りを持っていますか?」
選択肢:①持っている ②持っていない

2 指標等の推移

指標名	単位	数値区分	21年度現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
対象指標	A 人	見込み値		56,281	56,829	57,377	57,925	58,474
		実績値		56,638	57,367	58,237	59,067	
成果指標	A %	成り行き値		45.6	45.6	45.6	45.6	45.6
		目標値		46.0	46.7	47.5	48.2	49.0
		実績値	45.6	42.7	42.9	42.2	42.2	
	B %	成り行き値		69.9	69.9	69.9	69.9	69.9
		目標値		69.9	70.0	70.0	70.5	70.9
		実績値	69.9	72.6	69.2	70.2	68.8	
	C %	成り行き値		59.8	59.8	59.8	59.8	59.8
		目標値		60.0	61.5	60.0	60.0	60.0
		実績値	59.8	62.5	61.5	60.0	58.9	
	D	成り行き値						
		目標値						
		実績値						
E	成り行き値							
	目標値							
	実績値							
F	成り行き値							
	目標値							
	実績値							
事務事業数			10	10	8	6	6	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	3,754	4,995	0	0	0
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	41	65	153	380	150
		繰入金	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	7,612	7,018	7,291	6,583	8,224
		事業費計(A)	千円	11,407	12,078	7,444	6,963	8,374
		(A)のうち指定経費	千円	5,810	5,773	2,085	1,942	2,039
		(A)のうち時間外、特殊勤務手当	千円	0	0	0	0	0
		人件費	時間	1,885	2,145	2,368	2,057	1,550
人件費計(B)	千円	7,608	8,732	9,434	8,374	6,310		
トータルコスト(A)+(B)			19,015	20,810	16,878	15,337	14,684	

基本計画期間における施策の目標設定とその根拠(水準の理由と前提条件)

A: 歴史伝統文化に触れている市民の割合の成り行き値は、実績値の推移を踏まえると、極端な増減はないと考え、平成21年度実績値45.6%で平成27年度まで推移すると設定した。目標値は、市民に、市の文化財や郷土芸能についての周知を図り、歴史資料館での特別展やふるさと探訪バスツアーなどの取り組みをさらに充実するとともに、伝統的な祭り等を支援していくことで、微増すると考え、第1期基本計画の目標値であった49.0%を平成27年度目標値と設定した。

B: 郷土として愛着を感じている市民の割合の成り行き値は、実績値の推移を踏まえると、極端な増減はないと考え、平成21年度実績値69.9%で平成27年度まで推移すると設定した。目標値は、現状でも69.9%の人が愛着を感じており、水準は高いと考えられるが、今後も市指定文化財を掘り起こし、周知、啓発していくことにより、郷土を再発見してもらう機会が増えると考え、第1期基本計画の目標値である70.9%を目標値として設定した。

C: 郷土として誇りを持っている市民の割合の成り行き値は、実績値の推移を踏まえると、極端な増減はないと考え、平成21年度実績値59.8%で平成27年度まで推移すると設定した。目標値は、現状でも59.8%の人が誇りを感じており、水準は高いと考えられるが、子ども達が地域や学校で歴史や伝統文化に触れ合う機会を作り、歴史や伝統文化への理解を深めることで、少しずつ誇りをもってもらうようになると考え、平成27年度の目標値を60%と設定した。

基本計画期間における施策の方針

①旧2町の歴史と伝統文化の相互理解をはかる。
②伝統的郷土芸能や歴史的な祭りの保存活動を行なう団体の継承者の育成を図る。

3 施策の特性・状況変化・住民意見等

<p>【1】この施策の役割分担をどう考えるか(協働による住民と行政の役割分担)</p> <p>ア)住民(事業所、地域、団体)の役割(住民が自助でやるべきこと、地域やコミュニティが共助でやるべきこと、行政と協働でやるべきこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民は、昔から伝えられた行事などに参加することで、歴史、伝統文化を継承するとともに、それらをもとに新しい文化を創造し伝えていく。 ・地域は、地域の歴史や伝統文化を守り、継承することによって連帯感を高める。 ・事業所は、地域の行事に積極的に参加し、協力する。 <p>イ)行政の役割(市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財の保護、保存及び施設の管理を適切に行なう。 ・施設や文化財について、市民へ啓発し、活用促進を図る。 ・地域の取り組みに応じた支援を行なう。 ・学校教育と連携した子どもたちへの啓発を行なう。 	
<p>【2】施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は今後どのように変化するか?(平成27年度を見越して)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史資料館と郷土資料館の統合に向けて、両館の収蔵物調査をすすめ、収蔵及び展示のあり方が検討される。 ・文化財の標柱等の老朽化が進んでおり、分かりづらくなっている。 ・伝統的郷土芸能や歴史的な祭りの保存・継承活動を行う団体の高齢化がすすみ、存続が難しくなっていく。 	
<p>【3】この施策に対して住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化施設について、利用している近隣市町や市民からは評価が高いが、利用しない市民からは税金の無駄遣いだという声も聞かれる。 ・地域で開催している祭りについて、市の主催にして欲しいという要望がある。 <p>【平成26年度の施策評価(25年度振り返り)における議会意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 伝統文化の継承者育成に努めること。(具体的な支援策を検討すること) <p>【平成26年度の施策評価(25年度振り返り)における総合政策審議会意見】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 行政が本気で取り組む体制づくりを検討すること。 2. 学校教育の一貫として教職員を含めて歴史・伝統を勉強すること。 3. 歴史資料館、郷土資料館の運営方法を再検討すること。 	

4 施策の評価

<p>【1】施策の目標達成度(26年度目標と実績との比較)</p> <p>A → ×【合志市の歴史・伝統・文化に触れている市民の割合】</p> <p>：目標値48.2%に対し実績値42.2%であり、達成度は87.5%であった。</p> <p>B → △【合志市を郷土として愛着を感じていると答えた市民の割合】</p> <p>：目標値70.5%に対し実績値68.8%であり、達成度は97.5%であった。</p> <p>C → △【合志市を郷土として誇りを持っていると答えた市民の割合】</p> <p>：目標値60.0%に対し実績値58.9%であり、達成度は98.1%であった。</p>	<p>※左記の背景として考えられること(根拠となる実績値、判断理由など)</p> <p>Aについては、歴史資料館の入館者数やまちなみめぐり探訪バスの実施による参加者数に目立った変動は無く、前年度と変わらず推移している。</p> <p>B、Cの郷土に対する愛着や誇りについては、達成度が95%を超えており、ほぼ達成したと考えられる。</p>
<p>※○:目標達成 △:目標をほぼ達成(-5%) ×:目標を未達成</p>	

<p>【2】施策の振り返り(施策の方針、経営方針の達成度等)</p> <p>(1)平成26年度経営方針にある、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「郷土愛を育むため、遺跡、史跡を活かし、文化財をとおした市民の交流を図る」については、まちなみめぐり探訪バスやこども歴史科学体験教室の実施や合志義塾を題材とした「カタルパの樹」のマンガ本を発刊し、合志の歴史学習の啓発にも取り組み、市民交流を図った。 ②「歴史、文化財ガイドの育成を図る」については、広報の連載記事として、合志市にある史跡や遺跡、伝統的建造物などを紹介するとともに、まちなみめぐり探訪バスでの史跡、名所の説明を行い、市民へ多くの知識を学んでもらいガイド育成の足がかりに取り組んだ。 ③「歴史と伝統文化の広報と保存活動の支援を行う。」については、高齢者講座での能楽の公演や各種歴史伝統芸能団体の後継者育成を含めて引き続き支援を実施した。 <p>(2)事務事業貢献度評価の結果では、平成26年度施策の成果を向上させるために最も貢献した事務事業として、「合志市郷土・歴史資料館運営事業」があげられた。</p>

【3】 施策の課題(基本計画期間を見据えて、どのような課題を解決していかなければならないか)

- ・地域の歴史や伝統文化について、ブランド化につながるよう関係機関との連携を図り、アピールに努める。
- ・文化財指定基準要綱の基準に基づき、指定をすすめていく。
- ・歴史資料館と郷土資料館の統合に向けて、両館の収蔵物調査を踏まえ、収蔵及び展示のあり方を検討して方向性を示す。
- ・文化財の標柱等の老朽化がみられるため、整備をすすめる。
- ・伝統的郷土芸能や歴史的な祭りの保存活動を行う団体の継承者の育成を図る。

5 施策の26年度結果に対する審査結果

① 政策推進本部での指摘事項(施策目標達成度評価結果報告を受けて・・・平成27年7月23日)

- ・歴史と伝統文化について、転入した市民や子どもたちに関心を持たせるような取り組みが必要。
- ・歴史探訪まちめぐりバスなど、市民に人気のあるイベントをより魅力的なものにする取り組みが必要。
- ・歴史・伝統・文化は合志市固有の財産であり、既存文化施設などを活用した取り組みが必要。

② 総合政策審議会での指摘事項(平成27年8月12日、8月19日、26日まとめ)

- ・市民が歴史、文化に触れる機会を増やすこと。
- ・新しい歴史、伝統文化を作る取り組みを検討すること。
- ・歴史資料館、郷土資料館の運営方法を再検討すること。

③ 議会の行政評価における指摘事項(平成27年9月25日)

- ・歴史と伝統文化については、長い目で見て小中学校時代に体験として学習する機会をつくること
- ・地元との連携による教材の作成をすること

6 次年度に向けた取り組み方針

● 政策推進本部 平成28年度合志市経営方針(平成27年10月5日)

1. 市の歴史・伝統・文化財等を活用した市民交流、郷土愛の醸成に資するような取り組みを進める。
2. 歴史・伝統・文化財施設の適切な保存維持管理を行うと共に、市民への周知啓発の工夫改善に努める。
3. 歴史資料館、郷土資料館の効果的で効率的な運用方法について、検討する。
4. 伝統文化保存団体の継承者支援に努める。

施策マネジメントシート3(26年度目標達成度評価)

基本事業名	79 歴史と伝統文化(文化財を含む)の保護	基本事業担当課	生涯学習課
-------	-----------------------	---------	-------

対象	歴史と伝統文化(文化財を含む)	意図	良好な状態で保たれている
----	-----------------	----	--------------

成果指標名	単位	数値区分	21年度 現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
A 指定された文化財の数	件	(成り行き値)目標値		(23) 23	(23) 24	(23) 25	(23) 26	(23) 27
		実績値	22	23	25	25	26	
B		(成り行き値)目標値						
		実績値						
C		(成り行き値)目標値						
		実績値						
D		(成り行き値)目標値						
		実績値						

7 基本計画期間における基本事業の目標設定(水準設定の理由と前提条件)

A: 合志地区と西合志地区の文化財指定の基準に相違があったので、西合志地区の文化財の指定が少ない状態となっている。今後、西合志地区の文化財の詳細調査を実施することで、西合志地区から新たに文化財の指定が進むと考えられ、平成27年度の目標値を27件に設定した。

8 基本事業の26年度の振り返り(目標達成度評価)と28年度に向けての課題

指定文化財指定基準要綱の基準により、以前から西合志地区で未指定となっていた1件(生坪の石立石棺)の文化財の指定をおこなった。

基本事業名	80 歴史と伝統文化に触れる機会の提供	基本事業担当課	生涯学習課
-------	---------------------	---------	-------

対象	市民、市の出身者	意図	多くの歴史と伝統文化を知り、触れることができる
----	----------	----	-------------------------

成果指標名	単位	数値区分	21年度 現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
A 合志市の歴史と伝統文化に触れている市民の割合	%	(成り行き値)目標値		(45.6) 46.0	(45.6) 46.7	(45.6) 47.5	(45.6) 48.2	(45.6) 49.0
		実績値	45.6	42.7	42.9	42.2	42.2	
B		(成り行き値)目標値						
		実績値						
C		(成り行き値)目標値						
		実績値						
D		(成り行き値)目標値						
		実績値						

7 基本計画期間における基本事業の目標設定(水準設定の理由と前提条件)

A: 市民に、市の文化財や郷土芸能についての周知を図り、歴史資料館での特別展やふるさと探訪バスツアーなどの取り組みをさらに充実するとともに、伝統的な祭り等を支援していくことで、微増すると考え、第1期基本計画の目標値であった49.0%を平成27年度目標値と設定した。

8 基本事業の26年度の振り返り(目標達成度評価)と28年度に向けての課題

特別展では、近代農業の先駆的「合志義塾」のパネル展示を行い、広く市民に紹介した。「ふるさと探訪まちめぐりバス」では地元の歴史文化の散策や、子ども歴史科学体験を市内の小中学生を対象に行い、郷土の歴史に触れる機会づくりに努めた。今後も引き続き事業を行うと共に、歴史・伝統・文化を知り、触れる機会づくり努める。

基本事業名	81 伝統文化の継承	基本事業担当課	生涯学習課
-------	------------	---------	-------

対象	・無形文化財 ・市民、市の出身者	意図	・継承されている ・後継者として育っている
----	---------------------	----	--------------------------

成果指標名	単位	数値区分	21年度 現状値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
A 後継者のいる団体の割合	%	(成り行き値)目標値		(63.6) 63.6	(63.6) 63.6	(63.6) 81.8	(63.6) 81.8	(63.6) 81.8
		実績値	63.6	63.6	66.7	66.7	81.8	
B		(成り行き値)目標値						
		実績値						
C		(成り行き値)目標値						
		実績値						
D		(成り行き値)目標値						
		実績値						

7 基本計画期間における基本事業の目標設定(水準設定の理由と前提条件)

A: 後継者のいない団体4団体について、現在後継者育成に取り組んでいる団体が2団体あるのでその実現を目指して、後継者育成の支援を強化することで、第1期の平成22年度の目標値を81.8%(2団体増)に設定した。(11団体を支援⇒そのうち後継者が育っている団体の割合)今後さらに後継者育成支援を推進することで27年度の目標値を81.8%に設定した。

8 基本事業の26年度の振り返り(目標達成度評価)と28年度に向けての課題

学校の総合学習等を活用し、子どもたちにも伝統芸能の良さを知ってもらい、後継者育成に取組み、子ども神楽や子ども太鼓で育成が図れた。今後も継続して、後継者育成に取組み支援を行なう。